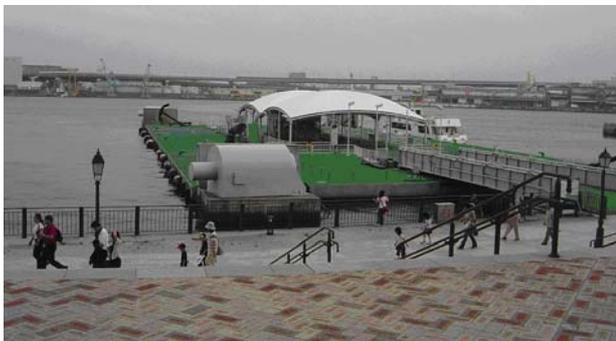
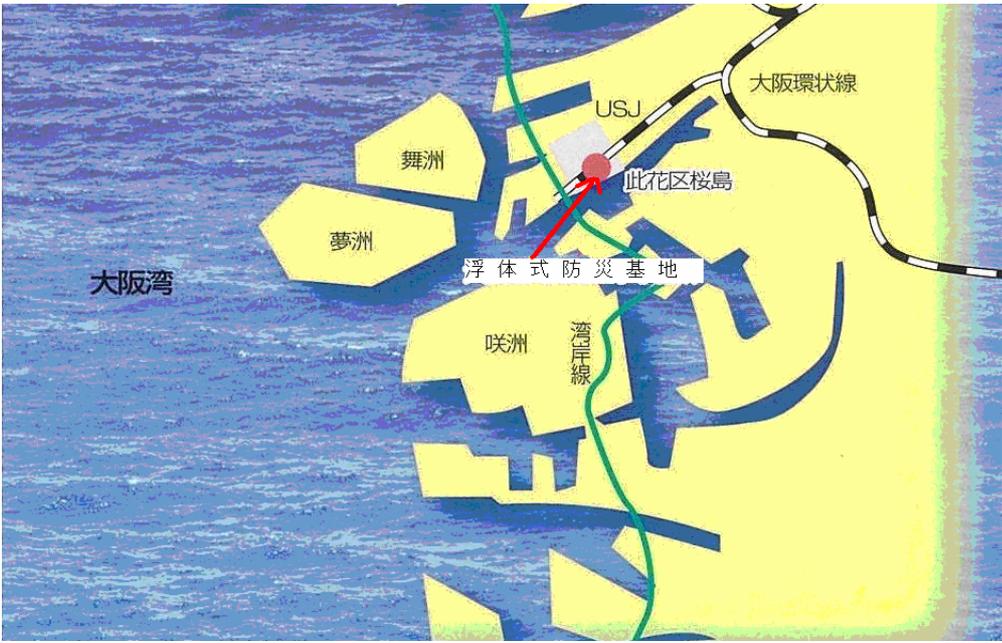


観光社会資本の事例

テーマ	テーマパークの玄関口
【施設の状況写真】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p data-bbox="150 824 1442 1048">大阪湾に浮かぶ浮体式防災基地。地震災害時などの緊急時に被災地に曳航し、救護船の係留やヘリポートなどの防災基地となり、避難生活及び復旧活動を支援することを目的とした浮体構造物です。常時においては、背後のユニバーサルスタジオジャパンを訪れる人々の海上アクセス用公共棧橋として、海遊館西はとば、南港コスモピア、南港フェリーターミナル等大阪港内の3カ所から海上シャトル便で直結し、玄関口として利用されます。</p>	
【施設の利用写真】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p data-bbox="408 1496 1098 1532" style="text-align: center;">旅客船の利用状況。テーマパークに向かう観光客。</p>	
<p data-bbox="150 1637 555 1673">【観光資源としての利用状況】</p> <p data-bbox="150 1682 1442 1816">浮体式防災基地は、大阪港の周遊クルーズの発着地点として、また背後には大規模テーマパークのユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの玄関口としても利用され、旅客船が行き来しています。</p>	

テーマ	テーマパークの玄関口
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 浮体式防災基地</p> <p>○所在地 大阪市此花区桜島</p> <p>○事業名 島屋地区・浮棧橋事業</p> <p>○事業主体 近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所</p> <p>○事業期間 平成10～11年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○整備目的 地震災害時などの緊急時に被災地に曳航し、避難生活及び復旧を支援することを目的としています。</p> <p>○常時利用 此花区に係留し、港内周遊船、港内アクセス船などの利用に供されています。浮体の規模は2,000Gトン程度の旅客船の係留が可能です。また背後には、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンがあり、海の玄関口として利用されています。</p> <p>○災害時利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救援・復旧活動拠点機能。・病人・けが人などの緊急輸送のヘリポート機能。 ・ 初期復旧機材の搬入、搬出機能。・必要な場所に移動し、緊急活動を支援する。 	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 (社)大阪港振興協会 http://www.oppa.or.jp/</p>	

